

ビキニ核被災賠償訴訟 で歴史的な判決が！

アメリカは1954年3月1日から5月14日まで太平洋マシーナル諸島、ビキニ環礁での6回の水爆実験を実施しました。地球規模の放射能汚染に対する反核運動の国内外への拡大に危機感をもった日米両政府は1955年1月、見舞金200万ドルで政治決着を図り、第五福竜丸以外のマグロ漁船の被災事実を闇に葬りました。ビキニ事件は、国家による被災した漁船員たちに対する人権侵害事件です。

1985年から高知県輪多高校生ゼミナールが山下正壽さんたちとともに進めた聞き取り調査で、第五福竜丸以外に全国で延べ992隻が汚染マグロを廃棄した事実などを明らかにしましたが、政府は認めませんでした。

この調査をもとに2016年5月に、45名の元漁船員・遺族が、「60年余ビキニ事件の真相を隠し続けてきた」「被災船員の調査や救済など何も

してこなかった」国に対する法的な賠償責任を求めて提訴しました。2審まで争いましたが、2019年12月12日の高松高裁判決は「国が意図的に隠し続けてきた証拠がない」「現行法律で被災者の調査や救済の義務も課せられていない」として控訴を棄却しました。

しかし、1審、2審判決はともに「漁船員がマシーナル諸島海域での操業中に被曝をしたこと」「原告の要求はヒロシマ・ナガサキのヒバクシャと共通するが、現行法の適用は困難だ。救済の必要性がある」とすると、行政府・立法府による一層の検討に期待するほかない」と、司法の場で初めて、第五福竜丸以外の船員の被曝を認め、さらに救済の道を示唆した歴史的な内容でした。

支援する会と若き7人の弁護士結成で、
ビキニ労災訴訟で救済と損失補償の道を拓くための会

ビキニ事件はまだ終わっていない

核実験被災船員の救済を

橋元陽一



2020年3月30日 ビキニ労災訴訟の提訴

一方、2016年2月に元乗組員と遺族11名は全国健康保険協会に、船員保険法の適用を求めて労災申請をしましたが、「検査であり、疾病や死因との関係は確認できなかった」とする同保険協会が設置した有識者会議の報告書を根拠に、原則的な認定手続きである申請者への聞き取りも行わず「不承認」としました。有識者会議の内部被曝の評価に對して、ビキニ核証金の研究者たちはあまりにも非科学的な知見であると指摘しています。汚染マグロを廃棄した事実、何より多くの船員が癌や白血病、心臓疾患を発症し苦しんできた事実は、決してなかったことにはできません。裁判判決と労災申請の結果を慎重に分析し、「国賠訴訟」で上告はせず、船員保険法の適用を求め、元船員と遺族の救済を求める「ビキニ労災訴訟」に切り替えました。同時に日米両政府の政治決着により米政府に補償を求める権利を奪われたことに対して、憲法29条（財産権）3項を根拠にして国に「損失補償」を求



提訴後の記者会見で

4月4日に自由民権記念館ホールで、「ビキニの海のねがい」の原画展に合わせ、紙芝居が上演されました。朗読したのは小中学校で現役の先生をしている宮川真幸さんでした。宮川さんはビキニの紙芝居をつくる会のメンバーで、劇団「創」の団員さんでもあります。16枚の紙芝居をよくとおるいい声で語るように読んでくれました。紙芝居を読むことを通じて被災した船員の方の生き様を考えるようになったと話していました。紙芝居のDVDが原画展の会場で販売されていて、その中に紙芝居の最後に登場する「黒潮に平和を」の歌が入っているそうです。

「ビキニの海のねがい」の上演会を観て

田村春美

話が出たそうです。室戸出身で、紙芝居にも登場する下元節子さんは、遺族として「ビキニ労災訴訟」の原告になった思いと裁判への支援を呼びかけられました。国がアメリカの行った水爆実験を不問にし、被災した船員の健康調査を打ち切らなければ、マグロ漁船に乗っていた漁船員の多くの方が被ばくしている不安や苦しみをもちと語る必要がでて、保険によって必要な医療を受けることもできていたのです。国賠訴訟の原告団長で昨年83歳で亡くなった増本和馬さんの妻の増本美保さんも「夫は癌でゼミの生徒さんがビキニの問題に取り組んでいることを新聞で知り、自分が知っていることを伝えてお役に立てるのならという思いで立ち上がった。夫自身も若い時から病気がちだったので知らさないかんといい思いがあった。紙芝居ができて若い人たちに引き継いでいってほしい」と話されました。

高知の高校生は潮が香る浜を歩き、ビキニ海域で操業していた漁船員の方から直接話を聞き、仲間の中で伝えあう活動を通して学び、ビキニ事件の真相に光を当てました。この完成した紙芝居には平和について仲間と一緒に真剣に考える高校生の青春とそれを支えた顧問の教員の情熱と努力が詰まっているのです。そういう平和を求める運動の歴史の流れの中にあることを、私たちは紙芝居を通して子どもたちに伝えていかなければならないと思います。



高退協第177回読書会

8月25日(木) 14時～ 於ムトー荘 201
テキストは『人間の経済』宇沢弘文著 新潮新書
参加費500円(会場使用料)
参加希望者は直接お越し下さるか樋口勇雄さんまで連絡ください。初めての方大歓迎です。

高退協掲示板

お知らせ 高退協定期総会 日程変更

5月16日(土)に予定しておりました高退協定期総会は新型コロナウイルス感染予防のため以下のように日程を変更します。総会当日はみなさまの元気な顔に出会えますよう心よりお待ちしております。

高退協 総会・懇親会 7月7日(火) 高知城ホール
総会 13:30~15:30 3F会議室
懇親会・新加入と米寿を祝う会 16:00 ~ (会費 4,500円)